

TAKEHARA ROTARY CLUB ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2710
WEEKLY BULLETIN 竹原ロータリークラブ週報



会長	荒谷 隆文	副SAA	堀越 賢二
会長エレクト	木村 安伸	直前会長	下山 生修
副会長	夜船 正昭	管理運営	菅 義尚
幹事	久藤 孝仁	会員組織	本庄 純夫
副幹事	吉本きよ子	奉仕	土居 敏昭
会計	坂田 武文	広報	小坂 啓子
SAA	佐渡 文武	R財米山	藤中 保

四つのテスト

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのために
なるかどうか

<事務局> 〒725-0026竹原市中央4丁目6-18樋ノ口屋おおぎビル203号
TEL 0846-22-7570 FAX 0846-22-7651 Email:rc-take@estate.ocn.ne.jp
URL:http://www5.ocn.ne.jp/~rc-take/
<例会場> 〒725-0021竹原市竹原町3591-1 大広苑 TEL 0846-22-2970
<例会日> 毎週木曜日12:30~13:30 発行:クラブ広報委員会

本日のプログラム 11月22日	次週のプログラム 11月29日
プレ公式訪問 G9ガバナー補佐 林 克宏 様 補佐幹事 村上 光 様	年次総会 クラブアッセンブリー

2012年11月15日 第2359回(くじ席)例会記録

プレ公式訪問
13:40~14:20 クラブアッセンブリー
『ロータリーを学習しよう』(RLI方式)

- 1) ロータリーの入会の目的は何ですか。又、入会の動機は何ですか。

仕事が目的で入会されている会員がおられたらどう思いますか。
ロータリーの創立時の目的を知っていますか。
- 2) ロータリーは何をする団体だと思えますか。会員以外の人に聞かれたときになんと答えますか。
- 3) 奉仕の理想をどの様に考えていますか。
- 4) 超私の奉仕とはどの様なことですか。
- 5) 職業奉仕とはどんなことですか
四つのテスト(行動基準)
- 6) ロータリーの目的は何ですか。
綱領を読まれたことがありますか。
- 7) ロータリーの行動規範の中に、全ての行動と活動において高潔性という中核的価値観の模範を示すこと。とありますがこの中核的価値観について知っていますか。
親睦 奉仕 多様性 高潔性 リーダーシップ
- 8) 長期(戦略)計画についてどのように理解されていますか。
重要なロードマップ(指針) ビジョン 優先項目 使命 中核となる価値観 モットー
- 9) CLP(効果的なクラブ)の要素について知っていますか。
- 10) ロータリー財団の夢計画についてどの様に理解していますか。

- ソング:我等の生業
- ゲスト:地区米山記念奨学会委員会
委員長 稲葉 周三様
- ビジター:三原RC 龍山 俊暁様

スマイルボックス

- 特別スマイル
・地区米山記念奨学会委員長 稲葉周三様

幹事報告

- 幹事 久藤 孝仁
- ・次週11月22日(木)はプレ公式訪問例会です。
例会終了後はクラブアッセンブリーを開催しますので宜しくお願い致します。
 - ・2013年2月26日(火)~28日(木)台湾羅東扶輪社訪問の同伴者有無確認をさせていただきます。

会長の時間

会長 荒谷 隆文

皆さんこんにちは。本日は地区米山記念奨学会稲葉委員長にお越し頂きました。地区リーダーへの卓話の依頼は今年度米山委員会活動項目の一つに挙げられております。
市内に大学、専門学校の指定校のない我がクラブでは、米山奨学生との関係が身近に感じられないものがあり、何か繋がりになる良い方策があれば教えていただきたいと思っております。今日はこの後、どうぞ宜しくお願い致します。

明日16日(金)は、第17回全国空港RCフォーラムがエアポートホテルに於いて開催されます。広島空港RCの姉妹クラブとして出席して参ります。11月22日(木)のプレ公式訪問は「ロータリーを学習しよう」がテーマですので、手続要覧に目を通していただいで、是非とも全員出席を宜しくお願致します。

委員会報告

□親睦活動委員会 委員長 三好 静子
12月8日(土)忘年家族例会を開催します。楽しい催しを企画しておりますので、多数のご参加をお願致します。

外部卓話

「公益財団法人ロータリー米山記念奨学会の
さらなる理解と推進」

地区米山記念奨学会委員会
委員長 稲葉 周三様



こんにちは。今年度地区米山奨学委員長を仰せつかっております稲葉でございます。所属は呉RCです。本日は宜しくお願致します。米山記念奨学会ができて、今年新たに公益財団法人と

いう形になりました。それを機会に疑問に思っていた点等含めて本日はお話を進めさせて頂きます。米山奨学生に中国が多過ぎると感想を持つ方が多いと思います。そこで、米山の定款目的を読みますと、「この法人は、勉学又は研究のため来日し、わが国の大学等教育機関に在籍する外国人に対して奨学金を支給し、よってロータリーの理想とする国際理解と親善と平和に寄与することを目的とする。」これが目的です。即ちロータリーの精神を米山に受け継いでいることだと理解しました。米山記念奨学会が発足したのは、東京ロータリークラブが米山梅吉氏の功績を記念して米山基金として米山奨学制度を1952年12月に設立しました。1956年10月、第60地区年次大会において米山基金を地区内のクラブの共同事業にしよう決議がなされた。これが一クラブの奨学金制度から、地区内へと広がった最初だということです。そして数日後に第62地区の年次大会が行われ、こちらでも同じように共同事業にすると広がっていったと言われていました。

1967年7月財団法人ロータリー米山記念奨学会が設立されました。

普通寄附とは何だろうと疑問に思いました。第60地区、第62地区の年次大会において共同事業でなされたという手続がされている。それが米山の基

礎資金です。これが普通寄附です。これが財団になる時の根拠です。

各クラブから普通寄附は責任を持って拠出する、皆に協力していただくのが普通寄附です。特別寄附は個人寄附もありますしクラブ寄附もあります。調べましたら、姫路南RCから特別寄附が最初に送られたと記されており、新たに特別寄附が制度に根付いたと言われていました。

普通寄附は義務なのか、何故必要なのか、奨学会では次の三つを公表しています。

一つは、奨学金の為の安定財源が必要。二つ目は、財団設立の上で歴史的経緯がある。設立の時の経緯、国への提出書類、そして各クラブの同意事項というものを以って行っています。三つ目は、この事業が日本の全ロータリークラブが参加する多地区合同奉仕活動であるということです。これにつきましては2007年日本全地区によるロータリーの多地区合同奉仕活動として手続が完了したと云う形があります。この三つが普通寄附の根拠です。奨学生の選考の段階では条件は付いていません。一つの国に偏らないようにはお願いしています。その中で選考するわけですが、条件は単純明快です。目的にあるとおり、勉強をしっかりと国際平和と親善に寄与する架け橋になる、それだけの気概を持った優秀な学生が条件です。そして世話クラブとして、コミュニケーションがとれるというのが当地区の基本的な考え方です。それ以外はございません。みんな平等です。いろんな国との交わりを深めることで推薦の時に一国に偏らないようにと要望しています。

先日委員長さんからご質問を頂きました。当地区には商船学校があります。特殊になります。ご返事はさせて頂きました。クラブでご検討頂ければと思います。

今期地区で受けている奨学生は30名です。その中に継続者が4名です。寄附額から地区にそれぞれ割り当てられて参ります。次年度は新規に採用できる枠はグッと減りまして15名です。クラブ支援、地区奨励で継続の方が6名です。併せて21名です。現在は30名ですので大変厳しい状況です。全国で年間800名の採用でしたが700名となり100名減となります。折角のことですので一人でも多くの方をお世話できればと思いますと基礎的な寄附の方がということで、地区では一人16,000円以上をお願いしております。それをクリアすれば人数も増えるのではと思っております。

まずは皆様方へ米山への理解をして頂く、そして協力を頂くことだろうと思っております。

意をつくせませんが、竹原RCにおきましては常日頃からの御支援を賜っておりますことを改めて感謝を申し上げます話を終らせて頂きます。

出席報告

総員 34名	出席 23名	メーク 3名
欠席 6名	免除 2名	出席率82.35%